



3.11 東日本大震災・フクシマ 5周年 映画「小さき声のカノン」上映・満田夏花氏講演会 3月22日◎主催センスオブアース



「もう放射能を散らさないでください」という子供の声が全てだと思う。

立春を過ぎた3月12日の土曜日、未曾有の大災害と事故から丸5年。私達、NPOセンスオブアースは多くの区民の方々とこの日を心に刻み、3年前から、未来をひらく機会にするために、講演会や映画会を行ってきました。

今年は、昨年4月から公開が始まった福島とチェルノブイリ取材した「小さき声のカノン」を上映致しました。今回、会に協力する団体が増え、参加者もグリーホール2階の座席がほぼ埋まる**222名**となりました。

ご協力団体・個人のみなさま

板橋母親大会連絡会と各参加団体◎NPO法人いた・エコ・ネット◎
東京土建板橋支部◎新日本婦人の会板橋支部くちなし班◎いたばし
水と緑の会◎いたばし野鳥クラブ◎個人賛同者の方々

～みなさまありがとうございました。～

今回の上映・講演会を広げる会を立ち上げた目的は次の内容です。

1. 全国どこでも、「安全に文化的に生きる権利」を実現する。(憲法25条を実現する) —「はじめはみんな普通のお母さんだった。お母さんたちは希望を選択した。フクシマに生きること」(映画しおりより引用)
2. 現在のフクシマと避難の権利を知りエネルギーのこれからを考える。



講演者 FOE 理事 満田夏花氏

《みなさまのご感想より》

- ◆福島だけではなく関東まで放射能が飛んできている事を知り不安。日本に原発は入らない。
- ◇被曝による障害者が出てきてショック。「安全だ、無害だ、絶対発生する事はない」は全部嘘だった。
- ◆原発に変わる自然エネルギー発電設備の充実を期待する。政府に言っても答えてくれない、けれど子供の成長は待ってくれない。兵糧攻めとは政府が国民にやる仕打ちか疑問。
- ◇もっと広く呼びかけ多くの人に見て欲しい映画でした。誰もが人ごとではないこの事実・選択の難しさを感じました。
- ◆問題点山積みですね。
- ◇「もう放射能を散らさないでください」という子供の声が全てだと思います。
- ◆電力自由化の学習会にも参加したい。
- ◇とてもいい企画ありがとうございました。またこの企画を期待します。
- ◆日本の国は何だろうと思います。5年経った今でも避難生活を続けている人たちが辛い生活を強いられているのは理解していたつもりになっていたが、今日この映画を見て子育て中の若い世代の人たちの苦勞が伝わった。原発の推進を許す事は出来ない。
- ◇甲状腺ガンの影響がこれだけ影響が出ている事に驚いた。
- ◆原発反対! 国会議員全員に見せてください、この映画を。
- ◇放射線による子供達の健康問題はよく知られていない。
- ◆私の実家は福島南相馬市。津波で地区はなくなった。そして友達も避難で苦しんでいた。東電はやめるつもり。
- ◇大手メディアでは取り上げない小さき声を丁寧に拾ってチェルノブイリでの教訓を今でも生かしているベラルーシの取り組みを科学的に紹介し福島をはじめとする日本の人々に道筋をしめしている大変良い映画でした。





自然の造形活動

春の木の顔を作ったよ

3/22 板橋区立かないくぼ
保育園 卒園児18人
東板橋公園にて



ここには、たくさんの樹木が公園のあちこちにあり、かわいい動物もいます。春いっぱいになった公園で、木の妖精に助けられる「キロリの鬼ごっこ」で、思い切り走り回りました。次はいよいよお気に入りの木を探し、顔を作っていきます。基本は木の形を生かし、足りない部分だけ紙を貼っていきます。どうですか？ 選んだ木の表情！ 今にも大きな声でしゃべり出しそうな顔。



子どもたちの声

★初めてキロリの鬼ごっこをやった楽しかった

★木に命があるんだと思った ★木に顔を作ってこんないい顔になるんだね

先生方より『やってみたら楽しくて自分が顔をつけてあげるとこんなに素敵になるんだと思った』という子どもの感想から樹木を身近に感じ親しみを持つきっかけになった。顔を作った後木々を見る子どもたちの目に笑顔があふれていた。』

風となかよし

3/24 板橋区志村坂下保育園
卒園児15人

今まで、どんな風(かぜ)に出会った？ 紙芝居「風の子フーのなみだ」を聞いてから、風車と紙トンボづくり。「楽しかった」「おもしろかった」「紙コプターが楽しかった」。最後に屋上に出て、シャボン玉を飛ばしました。お話を上手に聞いていて、感心しました。

先生方より「わかりやすい説明で子どもも理解し作業に取り組めた。生活の中で使っているものの中に風を利用したものがあることに気づくことができた。」



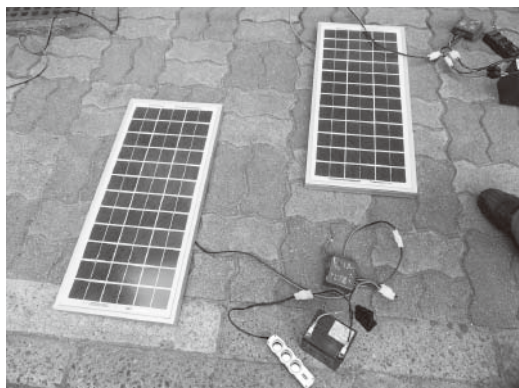


SOE ワークショップ オフグリッド発電に挑戦 「はじめてみよう・ 自然エネルギー」 今日がワタシの 発電記念日！

今年度の最後のワークショップで、実際に発電を体験する活動を行いました。まず、実際に千葉県匝瑳市まで行って、オフグリッドの発電を学んできたSOEの北野より、発電の仕組みの説明を受け、実際に組み立て、薄日が差す庭に出て、太陽の光エネルギーを電気に変えて蓄電しました。

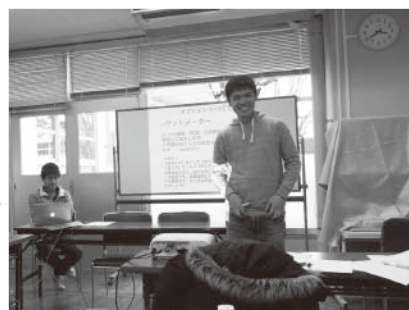


20W発電◎組み立てに使った道具4つ



- ①ソーラーパネル：太陽光発電2枚
- ②バッテリー1：蓄電池
- ③シガーソケットか、USBソケットコンセントの代わりになるもの
- ④チャージコントローラー：過充電を防止・電気の逆流を防止

組み立ての後は、SOE高橋による分かち合い、ライフスタイルのふりかえりと思いをし合いました。まず、毎日使っている電気器具などの数々を出し合って、どのくらいの電気を消費しているかを一人ひとりが振り返りました。家族がいる方でざっと、30種類の器具と、待機電力。本日発電した電気20Whは、デジタルカメラの充電、携帯の充電などの電力量でした。ベランダなどにおいて200Wh位発電し、パソコンや携帯、プリンターぐらいは動かしてみたいと思った発電記念日。再生エネ発電と節電、どちらも同じ程度のエコになる。



参考◎各電力量 (Wh)

エアコン：800～1300 エアコン暖房：1000～1500 ホットカーベット：1000
電気こたつ：600～1000 冷蔵庫：1000～1500 洗濯機：800～1500
炊飯器：500～1000 電気ポット：500～1000 電子レンジ：1000～1500
テレビ：100～300 パソコン：50～120 プリンタ：30～60 デジタルカメラ：20
携帯充電：10

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp